

第7分科会 第3会場

「民医連職員と共同組織が
いっしょにすすめるとりくみ」

第一セントラルビル1号館 5FD会議室

演題番号 7-3-1

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	林道倫精神科神経科病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカガワ トシヒコ 中川 俊彦	医局事務課	第7分科会

発表テーマ
研修の中に当事者、家族との関わりを取り入れて

内容（発言要旨）

当院は、中四国の様々な病院から初期研修医の精神科研修受入を行っています。また医学生の受入も積極的に行っています。

その中で、当法人の「林友の会」の活動に参加してもらうようにしています。（当事者会、家族会のどちらか）

また、当院は当事者の方たちの地域での暮らしを支えるところにも力を入れており、その現場も必ず見てもらい、当事者との関わりをしてもらうようにしています。

今回、そういったプログラムを行ってきたの振り返りを、参加者、そして受け入れ側の感想なども交えて報告したいと思います。

初期研修：医学部卒業後2年間様々な科を回る研修

所属している組織の概要	
研修担当、医学生担当として活動しています。	
TEL 086-272-8811	メール hama472@po.harenet.ne.jp

演題番号 7-3-2

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
山梨	石和共立病院	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イトウ キミカ 伊東 仁香	小児リハ室 室長	第7分科会

発表テーマ
小児リハビリからつながる 友の会活動と仲間づくり

内容（発言要旨）

私たちの職場では、拡大月間の取り組みとして、通院児の保護者の方に広く友の会の活動を宣伝するために「拡大班会を開催すること」を計画実施しました。班会のテーマとして、①「障がいがある子の、親なき後対策・相続対策」②「ことばをはぐくむ～ことばの土台をしっかりと～」③「就学に向けての準備」の3つを開催しました。3回の班会を通して、8名ほどの会員拡大に繋がりました。

2020年に始まったコロナ禍の影響で、集合して行う班会ができなくなり、それまで行っていた多くの班会が開催できずもどかしい思いをしてきました。当室に通院する子どもたちは、人との関わりや社会性の力を伸ばしたい子どもさんが多く、班会活動の中でその力を育ててきた面も大きいです。また、親御さん達も、同じような子育ての悩みや、経験談を共有する事で、子どもの捉え方や関わり方を学ぶ事ができる班会に参加してもらってきました。2023年5月 コロナが5類に移行押したことで、少しずつ対面で集合しての活動が再開できるようになりました。

友の会員になってもらうことで、子どもへの関わりを学ぶ事ができ、最近の子育て事情を知ることができ、人と人との繋がりを作っていく班会に参加するのは会員さんへの大きなメリットです。そのために、私たち職員は班会を継続し、リハで知り合った子ども同士やお母さん方の交流の場・学びの場としての班会活動に取り組んでいきます。さらに子ども達の生活環境や地域作り、制度についても考えていかれる仲間作りにつなげていきたいと思っています。

所属している組織の概要	
石和共立病院は山梨県笛吹市石和町にある病床数99床の病院です。 峡東健康友の会は会員数約1500世帯（2024年3月末現在）の組織です。	
TEL 055-263-3131 (内線9338)	メール k-itou@s.yamanashi-min.jp

演題番号 7-3-3

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
青森	株式会社ファルマ	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
鈴木 健仁	課長	第7分科会

発表テーマ
出張出前講座

内容（発言要旨）

- ・株式会社ファルマでは、「在宅訪問について」「お薬の飲み方について」「サプリメント・健康食品について」「認知症など病気について」「お薬代について」「健康体操」等もっと詳しく知りたいという方の為に、お薬については薬剤師が、制度等については事務職員が講師として出張する活動を行っています。
- ・2014年度から始まり、依頼件数は年々増加（2014年度13件280人→2023年度37件686人）、津軽保健生協支部の班会以外からの依頼も増加傾向にあり、薬剤師各々の活動からの繋がりや、健康教室に参加された方からの紹介、社会福祉協議会等、様々な団体からの依頼をうけています。
- ・参加者からの感想の中には、「普段聞けない事を相談できた」「今度、薬局に行ってみます」等、出前講座を行う事により、私たちの薬局はどういう薬局なのか、どのような薬剤師が働いているのかが身近に感じられるものとなっています。
- ・「かかりつけ薬局・薬剤師」「なんでも相談できる薬局」「地域に根ざした、必要とされる薬局」を目指して、まちづくりに貢献していきます。

所属している組織の概要	
株式会社ファルマ 利用者委員会	
TEL 0172-37-6016	メール phjimu3@jomon.ne.jp

演題番号 7-3-4

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
岡山	倉敷医療生活協同組合	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
佐藤 雅昭	コープリハビリテーション病院 リハビリテーション科 科長	第7分科会

発表テーマ
患者の家から地域が見える ～回復期リハ病棟の自宅訪問の実績～

内容（発言要旨）

- 【様々な複合ニーズにチームで対応】 当院では、脳卒中や骨折後の患者が回復期リハ目的で入院されます。最近では、入院患者は心不全や糖尿病などの複合疾病、生活環境や経済力など、複合的な課題を抱えています。患者が望む場所で生活するためには、多職種の協力が必要であり、課題の解決は容易ではありません。
- 【入院早期の自宅訪問で課題を具体的に】 そこで、我々は入院早期（1-2週間）に本人も同伴して自宅を訪問し、本人の大切にしていることや日頃の過ごし方、ご家族の受け止めなど、入院中の課題解決に役立つ情報を収集します。その情報を多職種回診で報告し、共有します。
- 【全国との実績比較】 2022年には284件、2023年には330件の自宅訪問が行われました。入院中の自宅でのリハビリテーション率（入院時訪問加算算定率）は全国平均2%（2022年）を大幅に上回る46.7%でした。
- 【まとめ】 限られた入院期間で、患者が満足できる生活を提供するために、関係職種も巻き込んだ在宅支援を行い、再び自宅での生活を目指します。自宅訪問はその課題解決の一環であり、今後も継続して実践していきます。

所属している組織の概要	
活動地域は、岡山県倉敷市水島。活動地域の人口は約47万人。所属する共同組織（コープリハビリテーション病院・老健あかね）の職員数は250人。	
TEL 086-444-3212	メール post@coopreha.jp

演題番号 7-3-5

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	社会医療法人社団健生会 けんせい歯科	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヤマワキ 山脇 ハルカ 春香	事務長	第7分科会

発表テーマ
孤立死事例を通して

内容（発言要旨）

【はじめに】

2020年4月～2023年12月の間、警察より5件もの遺体照合依頼があった。何かできる事があったのではないかと考え事例をまとめた。

【考察】

5事例とも行政にサポートされていたが孤立死に至り死後数日から数週間放置された状態で発見された。友の会や社保活動であるニュース配布での地域見守りや班会・健康講座・サークルや対市交渉等を通じ必要なサービスを受けられていない人たちのサポートを続けているが、コミュニティに参加しづらい人たちが一定数おり、孤立死等の事例がなくなることはないのが現状である。

【まとめ】

医療現場では患者のSOSに触れるタイミングが度々あるがその核心にあるものは分かりづらく見落とししやすい。その声に気づき多職種・地域の方と連携することが出来れば、わずかかもしれないが助けになることが出来るのではないか。日常的にこういった事例を雑談のように職場内で共有し興味を持つ職員が育つ職場づくりを大切にしていきたい。

所属している組織の概要	
八王子たま友の会：東京都八王子市は人口57万人の中核市。その八王子市を中心に近隣の多摩市や町田市にも支部や班があり、総勢5,200名の共同組織。	
TEL 0742-24-7332	メール nakajimajun@okatanikai.jp

演題番号 7-3-6

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
奈良	健康まちづくり推進部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ナカジマ 中嶋 ジュンジ 潤二	事務局長	第7分科会

発表テーマ
事業所のない地域で居場所づくり、様々な職種の職員が講師となって健康講座開催。

内容（発言要旨）

6年前に都南支部「ふれあい広場・げんき亭」が誕生しました。もともと、おかたに病院地域の春日支部約6000世帯となら健康友の会の中でも一番大きい支部でしたので二つの支部に分ける方針が提起され都南支部が結成されました。事業所のない地域での居場所の確保が実現しました。この3年間、コロナ禍で休止の連続でしたが他の支部の様に診療所建屋の中での活動ではないので比較的、行事やサークル等が開催しやすい状況でもありました。サークルには、「うたごえ」「指編み」「健康体操」「編み物」「映画鑑賞会」「麻雀」そして「健康講座」があります。健康講座は、おかたに病院グループ（病院、さくら診療所・門前診療所、しあわせ薬局済美店・調剤薬局）職員と協力して取り組む事が出来ました。健康講座は隔月で開催しています。職種別では、医師・看護師は勿論、薬剤師・歯科衛生士・検査技師・管理栄養士・ケアマネジャー・理学療法士等のセラピストを講師に招き各テーマに沿って講義を進めています。病院・診療所や事業所では、ゆっくり会話出来ませんが健康講座では、地域の皆さんとの交流もあり会話のやり取りも楽しく出来ます。地域の皆さんは、様々なテーマで何時も楽しみにされ、講師として参加した職員からは、地域に出る事、地域のみなさんとふれあう事の大切さを実感したとの感想もあります。発表では、テーマ毎の講座の様子をPPで紹介します。

所属している組織の概要	
活動地域は、奈良県奈良市都南校区。活動地域の世帯数は約5400世帯。所属する共同組織の世帯数は約1500世帯。	
TEL 0742-64-9026	メール kohigashi.692@okatanikai.jp

演題番号 7-3-7

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
東京	三多摩健康友の会 立川支部	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
サトウ 佐藤 まさ代	立川支部事務局長	第7分科会

発表テーマ
マフ作りを通じた立川相互病院看護部との共同の取り組み

内容（発言要旨）

2022年秋、急性期病院である立川相互病院から友の会に「認知症マフ」を作ってもらえないかという相談がありました。認知症専門領域の看護に導入したいということでした。これまでも病院との共同の取り組みはありますが看護部からの特殊な依頼は初めてのことで友の会役員会でプレゼンテーションをうけ取り組むことにしました。会報である「きずな」に「マフ作り」協力を常時掲載しお願いしてきました。沢山なので自分で持ってこれずタクシーで、家族にお願いして自家用車で、何度にも分けて届けられる方々。編み手は心配に及ばず、途絶えることなく広がっていきました。

今春4月までに病院に届けたマフは170枚、協力者は50人を超えています。病院看護部からは友の会からのマフはとても念入りで面白い物が多くて楽しみだと期待されています。スタート時は認知症患者さんへのケアで始めたのですが今では点適時や睡眠時の手の保護等に活用されているそうです。色も形も様々なので患者さんを「マフコーナー」に連れていき患者さんに選んでもらっているとのこと。病院で患者さんや看護に役立つ話題を会報「きずな」に掲載し、共同の営みとして発展させていきたいと思っています。

所属している組織の概要	
立川市民18万人、友の会員7400人、圏域に急性期立川相互病院・ふれあい相互病院・ふれあいクリニック・相互歯科・子ども診療所をもつ。	
TEL 042-525-9393	メール syaho@tachisou.or.jp

演題番号 7-3-8

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	淀川勤労者厚生協会附属相川診療所・健康友の会あいかわ	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
イチカワ 市川 健一	組織担当課長	第7分科会

発表テーマ
新たな公害病「PFAS」について、共同組織とのとりくみ

内容（発言要旨）

発がん性などが指摘される化学物質 PFAS（有機フッ素化合物）これが現在、新たな公害として全国に広がっています。昨年11月に発足した「大阪 PFAS 汚染と健康を考える会」が大阪府下で血中濃度調査をおこない、大阪民医連の事業所を中心に49会場1193名の方から血液検査にご協力いただきました。相川診療所がある吹田市は全国一高濃度の PFOA が検出された摂津市に隣接しており、相川診療所でもこの PFAS の問題を、広く知らせていくために健康友の会と共同で、班会や学習会に旺盛にとりくみました。また、相川診療所では検査を受けた方を対象にフォロー外来もおこなっています。このとりくみの中で、見えてきた問題、そして、これからの課題について発表します。

所属している組織の概要	
大阪府吹田市の南部を中心に活動。会員数6619世帯、4支部、機関紙配布協力者135名、いつでも元気購読者122名（いずれも24.4末現在）	
TEL 090-1910-6511	メール ichikawa@aikawabyouin.com

演題番号 7-3-9

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
福島	社会福祉法人わたり福祉会 はなネット友の会	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
ヒラヤマ 平山 のぞみ	事務職員	第7分科会

発表テーマ
応えたい、届けたい ～友の会活動を通しての 地域とのつながり～

内容（発言要旨）

わたり福祉会の事業所は地域の声から生まれており、その建設寄附運動のつながりを継続し立ち上がったのがはなネット友の会である。主に学習講演会・年4回の会報発行・地域訪問・バス旅行・地域の会交流会を通して、会員同士の交流・職員との交流を図る機会と福祉の学び合いをおこなってきた。会員さんはいわば「わたり福祉会サポーター」である。

しかしコロナ禍において活動は足踏み状況に。そんな状況でも、会費を届けてくださったり激励のメッセージを寄せて下さる方々の想いを受けとり、“会員さん一人一人に届く活動をしたい！”と、できることを模索して取り組んだ。その中で福祉の最前線にいる現場の職員が地域に出っていくことの大切さや、地域訪問は職員が地域福祉を学べる場でもあること、会員さんが「応援したくなる私たち」であり続けることがもっとも大切な土台であることなど大切なことが見えてきた。

活動は目的ではなく、つながりの手段のひとつである。地域の中に私たちに想いを寄せてくださる方々がいるという強みを胸に、今後も活動を展開させていきたい。

所属している組織の概要	
活動地域は福島県福島市。会員数約1400人。事業所建設時寄附者、各事業所のある地域の住民の方、利用者家族、職員が主な会員内訳。幹事23名、事務局職員8名でおこなう幹事会と、事業所のある主な3つのエリアごとに地域の会を組織している。	
TEL 024-542-8755	メール honbu@watari.or.jp

演題番号 7-3-10

県連名	所属共同組織名又は事業所名	
大阪	医療福祉生活協同組合おおさか ほくせつ地区	
発表者氏名	所属と役職	分科会番号
アズマ テツヤ 東 哲也	組合員活動部一般職員	第7分科会

発表テーマ
豊中診療所70周年記念文化行事

内容（発言要旨）

昨年度、豊中診療所が出来て70周年になったことを記念して、ほくせつ地区として嵐圭史氏主演の「赤ひげ」公演に取り組みました。はじめは医療福祉生協おおさかの「ほくせつ地区」だけでスタートとしましたが、医療福祉生協おおさか、大阪民医連の協力もあり、当日は満員御礼の大盛況に終わりました。「赤ひげ」のストーリーは江戸時代、小石川養生所での医療従事者の物語。幕府から緊縮予算を突き詰められる中、そこで働く医師たちの生きざまが問われていました。今、私たちを取り巻く社会はどうでしょうか。とりわけ度重なる社会保障の改悪とそれに抗しているち輝く社会をめざして活動する共同組織はまさに赤ひげ、保本登ではないでしょうか。劇が終了して会場内から出てくる皆さんの表情は大きな感動を受け歓びに溢れていました。文化の力、本物の力は私たちを変えることが出来ると改めて確信しました。これを機に民医連、医療福祉生協おおさかが一層団結し、さらに前進することを祈念します。

所属している組織の概要	
活動地域は、大阪府豊中市、池田市、箕面市、吹田市。活動地域の人口は約100万人。所属する地域の共同組織の人数は約7,300人。	
TEL 06-6840-7601	メール t-azuma@coop-osaka.or.jp